

八戸工業高等専門学校	開講年度	平成31年度(2019年度)	授業科目	第2外国語(中国語)(0922)
------------	------	----------------	------	------------------

### 科目基礎情報

科目番号	5M02	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	産業システム工学科機械システムデザインコース	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	『しっかり初級中国語』(石田友美・桑野弘美・島田亞実・鈴木ひろみ著) 白水社		
担当教員	中村 蘭		

### 到達目標

中国語の発音記号であるローマ字表記法をマスターする。

日常生活で使える基本的な挨拶を身につける。

努力目標として日中異文化の違いが理解できる。

### ループリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
中国語の発音記号であるローマ字表記法をマスターする。	中国語の発音記号であるローマ字表記法をとても正確にマスターしている。	中国語の発音記号であるローマ字表記法をマスターしており、不正確な部分が少ない。	中国語の発音記号であるローマ字表記法をマスターしようとする姿勢はあるが、不正確な部分に改善の余地がある。
日常生活で使える基本的な挨拶を身につける。	日常生活で使える基本的な挨拶を身につけ、実践で正確に、積極的に使える。	日常生活で使える基本的な挨拶を身につけ、実践で、だいたい正確に使える。	日常生活で使える基本的な挨拶を身につける努力はしているが、正確さと積極さがやや足りない。
努力目標として日中異文化の違いが理解できる。	日中異文化の違いをとても正確に理解しており、説明できる。	日中異文化の違いをある程度理解しており、説明できる。	日中異文化の違いを理解する姿勢は見えるが、正確さや、説明能力に改善の余地がある。

### 学科の到達目標項目との関係

ディプロマポリシー DP6

### 教育方法等

概要	初步レベルの中国語を習得し、かつ中国社会、文化に対しても理解を深める。
授業の進め方・方法	学習は発音の修得から始まる。その後、簡単な会話文を用いて、日常で使える基本的なコミュニケーション能力を身に着けることである。
注意点	音声教材を活用して復習を十分に行ってください。

### 授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期 1stQ	1週	発音① 声調・母音	声調・母音を正しくマスターし、基本的な挨拶ができる。
	2週	発音② 子音	子音を正しくマスターし、名前の尋ね方と答え方ができる。
	3週	発音③ n/ng付母音	n/ng付母音を正しくマスターし、数字1~9まで言える。
	4週	発音④ 発音規則	発音規則をマスターし、日付の言い方ができる。
	5週	第1課 何を食べるの?	語句、課文を聞く・読む・書くことができる。文法のポイントをマスターする。
	6週	第1課 何を食べるの?	課文の会話文を自然に話すことができる。トレーニング1の文型と総合練習1をマスターする。
	7週	復習	発音①~④と第1課を復習し、試験に備える。
	8週	到達度試験 (答案返却とまとめ)	
2ndQ	9週	第2課 それって中国語の新聞?	語句、課文を聞く・読む・書くことができる。文法のポイントをマスターする。
	10週	第2課 それって中国語の新聞?	課文の会話文を自然に話すことができる。トレーニング2の文型と総合練習2をマスターする。
	11週	第3課 かわいい!	語句、課文を聞く・読む・書くことができる。文法のポイントをマスターする。
	12週	第3課 かわいい!	課文の会話文を自然に話すことができる。トレーニング3の文型と総合練習3をマスターする。
	13週	第4課 何人家族?	語句、課文を聞く・読む・書くことができる。文法のポイントをマスターする。
	14週	第4課 何人家族?	課文の会話文を自然に話すことができる。トレーニング4の文型と総合練習4をマスターする。
	15週	復習(総まとめ)	第1課~第4課を復習し、100文字程度の自己紹介文を作成できる。
	16週	到達度試験 (答案返却とまとめ)	

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

### 評価割合

	到達度試験など	発表	合計
総合評価割合	100	0	100
基礎的能力	100	0	100
専門的能力	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0
---------	---	---	---